熊谷市
記者クラブ取材情報

令和2年4月27日発表
担当課:危機管理課

タイトル

「STOPコロナ」熊谷市独自の対策について
―― 広がるコロナ被害に「ワンチーム熊谷」で対処 ――

1．日時等

事業ごとに順次実施（別添資料参照）

2．事業概要

【目的】
新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛要請及び緊急事態宣言の発令を受け、市民の生活は大きく変化しています。
そこで、市民と街を守るため、６つの事業を緊急に実施することとしました。なお、必要な予算措置は、専決処分を予定しています。

【内容】
（１）**「STOPコロナ」小規模事業者緊急支援事業（給付額540,000千円+事務費）**
（２）**「STOPコロナ」子育て支援臨時給付金給付事業（給付額57,000千円+事務費）**
（３）**「STOPコロナ」暮らしと仕事の情報提供事業**
（４）**「STOPコロナ」がんばれ熊谷応援寄附金の募集**
（５）**「STOPコロナ」たすけあい雨合羽寄附の募集**
（６）**熊谷市教育委員会 WEB版「くまなびスクール」**
（７）**特別定額給付金室の設置**

【効果】
（１）地域に密着した小規模事業者を応援することで、事業継続と街の活力の維持を図ります。
（２）臨時給付金を支給することにより、ひとり親世帯等の生活を支援します。
（３）新型コロナウイルス感染防止対策に係る注意情報や、国・県・市の支援策等をまとめて新聞折込の冊子として提供することで情報が活用しやすくなります。
（４）寄附金を募り、感染防止等対策の財源として活用します。
（５）企業・市民から未開封の防護服・雨合羽を募り、救急・医療現場で危惧される防護服の不足に備えます。
（６）オンライン授業の実施により、学力向上、学習保障、家庭学習の充実が期待できます。
（７）体制整備を図ることで、特別定額給付金(仮称)給付事業に的確かつ重点的に対応できます。

3．特徴やPRポイント

・チカラを合わせて新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、
街の安心・活力を取り戻すための取組みです。

4．その他

・小規模事業者緊急支援金の申請は、郵送によります。支給は５月中旬以降(見込)です。
・独自財源による事業者への支給金は、県内では川口市、戸田市に続いて３番目の取組。
・雨合羽等は「持参又は郵送（着払い不可）」で受付、「未開封」のものに限ります。
・「WEB版くまなびスクール」は教育委員会と全ての小・中学校で協力し、全学年各教科の学習動画を幅広く作成し、順次配信していきます。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　危機管理課　上山
連絡先　048-524-1111　内線300

熊谷市
記者クラブ取材情報

令和2年4月27日発表
担当課:商工業振興課

（1）

タイトル

「STOPコロナ」小規模事業者緊急支援事業

1．日時等

令和２年５月１１日から令和２年７月３１日まで

2．事業概要

【目的】
新型コロナウイルス感染拡大を受け、外出自粛要請に続く緊急事態宣言の発令により、市民の生活は大きく変化しています。特に、市内の経済が縮小する中、市内の小規模事業者は、売上の急激な減少により大きな打撃を受けています。また、終息が見通せないことで、借入の返済の目途が立たずに新規の借入も出来ず、事業の継続が困難になるといった非常に厳しい状況にあります。
そこで、市内で事業を営んでいる小規模事業者に対して、事業と雇用の継続に向けた取組を応援するため、支援金を支給し街の活力維持を図ります。

【内容】
（１）給付額　１事業者に対し１０万円を支給します。
（２）支給対象　市内で事業を営んでいる小規模事業者（約5,400件）
（３）支給要件　以下のいずれも満たすことが必要となります。
　ア　個人事業主は市内に住所及び事業所を有する方、法人は市内に事業所を有する方
　イ　新型コロナウイルス感染症の影響で、令和２年２月から７月までの特定のひと月の売上が、前年同月と比較し５％以上減少していること
　ウ　原則として確定申告をしていること
（４）申請方法　郵送による受付
（５）申請受付期間　５月１１日（月）から７月３１日（金）まで

【効果】
地域に密着した小規模事業者を応援することで、事業継続と街の活力の維持を図ります。

3．

(特徴)
支給の要件を、国の持続化給付金の要件より緩和し、売上の減少幅を５％に設定することで、国の対象から漏れた方も広く対象として支援することができます。
(PRポイント)
国や県の経済対策における給付に先行して、いち早く市独自の給付を行うことで、国や県の施策へと繋げていくことができます。

4．その他

・小規模事業者緊急支援金の支給は５月中旬以降を予定しますが、可能な限り早期の支給を目指します。
・独自財源による事業者への支給金は、県内では川口市、戸田市に続いて３番目の取組。
・申請書一式は、５月11日（月）から熊谷市役所（商工業振興課）、大里・妻沼・江南各行政センター、熊谷商工会議所、くまがや市商工会本所・南支所で配布します。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　商工業振興課　高荷、野辺
連絡先　048-524-1111　内線499

熊谷市
記者クラブ取材情報

令和2年4月27日発表
担当課:こども課

（2）

タイトル

「STOPコロナ」子育て支援臨時給付金給付事業

1．日時等

2．事業概要

【目的】
新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済環境の悪化に係る支援として、児童扶養手当の受給世帯及び就学援助の認定世帯に対して、熊谷市独自の子育て支援臨時給付金を支給し、生活の安定を図ります。

【内容】
（１）給付額　　１世帯当たり３万円を支給します。
（２）支給対象　児童扶養手当の受給世帯及び就学援助の認定世帯（約1,900世帯）
（３）支給要件　令和２年４月分の児童扶養手当の支給対象者（生活保護世帯を除く。）及び令和２年４月１日現在の就学援助の認定世帯（児童扶養手当受給世帯及び生活保護世帯を除く。）
（４）申請方法　児童扶養手当及び就学援助の振込先口座としてすでに登録のある口座に振り込みますので、事前の申請は不要です。ただし、臨時給付金を希望しない場合のみ、申出書を提出してもらいます。
（５）支給日　　６月１０日（水）

【効果】
児童扶養手当受給世帯及び就学援助認定世帯の生活を支援します。

3．

(特徴)
原則、申請は不要とし、いち早く給付金を対象世帯へ支給します。
(PRポイント)
国の児童手当の子育て世帯への臨時特別給付金とは別に、市独自の給付を行います。

4．その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　こども課　田島
連絡先　048-524-1111　内線292

令和2年4月27日発表
担当課：広報広聴課

（3）

熊谷市
記者クラブ取材情報

タイトル

「STOPコロナ」暮らしと仕事の情報提供事業

1．日時　令和２年５月中旬配布予定

2．場所　熊谷市全域

3．事業概要

【目的】
　ホームページ等からの情報入手が困難な方を含めた多くの市民に対して、新型コロナウイルス感染症対策の関連情報等を広くお知らせするために、感染拡大の防止や国・県・市の支援制度等の情報を分かりやすくまとめた冊子を市内全域に配布します。
【内容】
　Ｂ４判・カラー・６ページの冊子を作成し、５月中旬の新聞朝刊に折り込んで市内全域へ配布します。そのほか、市役所、各行政センター、駅等に配置します。

4．特徴やPRポイント

　高齢者を含めた多くの市民へ確実に伝えられるよう、大きな紙面にできる限り大きな文字を使用して作成します。
　感染拡大の影響で新聞折り込みが減少しているという声が届いており、支援の一環として折り込みの機会を提供します。

5．その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　広報広聴課　増田　修司
連絡先　048-524-1111（内線205）

熊谷市
記者クラブ取材情報

令和2年4月27日発表
担当課:企画課

（4）

タイトル

「STOPコロナ」がんばれ熊谷応援寄附金の募集

1．日時　令和２年４月２８日から

2．事業概要

【目的】
　新型コロナウイルス感染拡大を受け、外出自粛要請や緊急事態宣言の発令により、市民生活の変化や地域経済の縮小など、非常に厳しい状況が懸念されています。
　そこで、ラグビーワールドカップ2019の開催都市として育んだ地域の誇りや一体感により、今こそ、市民一人ひとりが自覚とおもいやりをもって行動し、感染拡大防止対策をはじめ、まちの安心や活力維持の一助となるよう、市内外から広く寄附を受け入れ、コロナウイルス感染拡大対策に活用させていただきます。
【内容】
　感染防止、まちの安心や活力維持を目的とした寄附金を受入れ（募金箱、ふるさと納税）、いただいた寄附金は市が実施するコロナウイルス感染防止等の対策経費に充てさせていただきます。

3．特徴やPRポイント

4．その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部　企画課　市原、新井
連絡先　048-524-1111　内線214

熊谷市
記者クラブ取材情報

令和2年4月27日発表
担当課:商工業振興課

（5）

タイトル

「STOPコロナ」たすけあい雨合羽事業

1．日時　令和２年４月２７日（月）～

2．場所

3．事業概要

【目的】
　新型コロナウィルス感染の拡大に伴い、医療現場や救急等で使用する防護服等の不足が危惧されるため、会社やご家庭内で未開封の防護服又は代用のための雨合羽の寄附を募り、防護服等の不足に備えます。

【内容】
　企業や市民に、未開封の防護服、雨合羽の寄附を呼び掛けます。

【効果】
　防護服等が不足した場合に、医療現場へ提供するほか救急等で活用します。

4．特徴やPRポイント

・　募集品目　未開封の防護服、雨合羽
・　受付方法　郵送(着払い不可)又は持参
※接触機会を避けるため、できるだけ郵送でお願いします。
・　受付場所　市役所１階市民相談室、各行政センター地域振興係
・　受付時間　平日９時００分～１６時００分

5．その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　商工業振興課　長谷川
連絡先　℡048-524-1470　内線505

熊谷市
記者クラブ取材情報

令和2年4月27日発表
担当:学校教育課

（6）

タイトル

熊谷市教育委員会　WEB版「くまなびスクール」

1．日時　令和２年４月下旬～

2．場所

3．事業概要

【目的】
　市内小・中学校に在籍する全ての家庭に向けた学習支援コンテンツを動画形式で発信し、オンラインでの家庭学習を充実させ、子供たちの学力を保障します。

【内容】
○子供たちが教科書や熊谷市独自の「学力向上テキスト」等を見ながら、家庭学習に取り組むことができる学習動画を配信します。
○子供たちの集中力を考慮し、１つの授業動画につき、学習内容を絞り、１０分程度の講義や練習問題（解説入り）などの内容とします。
○熊谷市教育委員会学習支援コンテンツ（ホームページ）の公開は、IDとパスワードにより、児童生徒、保護者、教職員のみが視聴できる「限定公開」とします。

【効果】学力向上、学習保障、家庭学習の充実が期待できます。

4．特徴やPRポイント

○WEB版「くまなびスクール」では、教育委員会と市内全ての小・中学校が協力して学習動画を幅広く作成し、４月下旬から順次配信していきます。

5．その他

○「くまなびスクール」とは、基礎・基本的な学習内容の確実な定着を図ることを目的とした、熊谷市独自の学習支援事業であり、市内全ての小・中学校（４５校）が実施しています。土曜日や放課後等を利用して、参加する子供一人一人に対し、教員や学習支援員のきめ細かな指導によって、学力の向上を図り、確かな学力を身に付けさせています。
○県の他市では、さいたま市や深谷市、秩父市なども、子供たちへの学習支援として動画配信に取り組まれているとの情報を受け取っています。

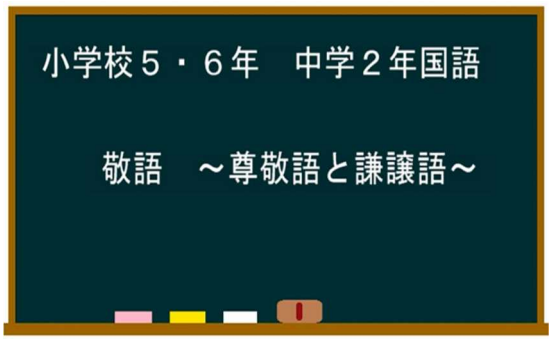
※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　教育委員会 学校教育課　爪川　由美子
連絡先　℡048-524-1111　内線386

資料

熊谷市教育委員会　WEB 版「くまなびスクール」

【国語～敬語編】

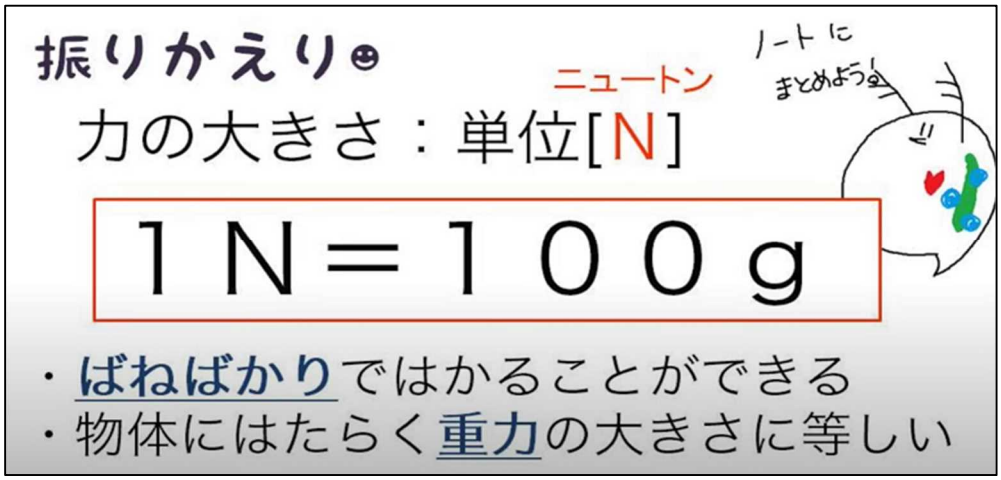




【体育～握力アップ編】



【理科～身のまわりの現象　第３章「力の世界」より「力のはかり方と表し方」】



令和2年4月27日発表
担当課：企画課

（7）

熊谷市
記者クラブ取材情報

タイトル

特別定額給付金室の設置

1．日時　令和２年５月１日（金）

2．場所　熊谷市役所 本庁舎１階北側 特設スペース

3．事業概要

令和２年５月１日から次のとおり行政組織の一部見直しを行います。

（主な改正内容）

⑴　**特別定額給付金給付事業に対応した組織の設置**

・「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」において、感染拡大に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、特別定額給付金（仮称）給付事業が実施されます。
特別定額給付金（仮称）給付事業を適切に実施するため、総合政策部に特別定額給付金室を設置します。
なお、特別定額給付金室の執務場所は、本庁舎１階北側の特設スペースとなります。

令和２年度（令和２年５月１日付け）の行政組織等に関する改正の概要

１　組織

⑴　設置（令和２年５月１日付け）

	名　　称	所　　属
1	特別定額給付金室	総合政策部

２　分掌事務

⑴　新規

	事　務　名	所　　管
1	特別定額給付金に関すること	特別定額給付金室

4．特徴やPRポイント

特別定額給付金（仮称）給付事業に的確かつ重点的に対応できるよう体制の整備を図りました。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　総合政策部　企画課　小貝・松村
連絡先　℡048-524-1111　内線216